

小中学校でタブレット学習が はじまっています



近年のグローバル化や急速な情報化の進展により、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。特に情報通信技術（ICT）は日々進化しており、タブレット端末やスマートフォンの普及により、常にどこでも誰とでもインターネットを使って情報発信や交流をすることができる時代となりました。

小中学校においても、コンピュータや情報通信ネットワークの整備を整え、GIGAスクール構想の実現に向けて動き出しています。

GIGAスクール構想とは？

- 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す



1人1台 端末

**「すぐにでも」「どの教科でも」「誰でも」
使えるICT**

検索サイトを活用した調べ学習

- 一人ひとりが情報を検索し、収集・整理
- 子どもたち自身が様々な情報にアクセスし、主体的に情報を選択する



一斉学習の場面での活用

- 誰もがイメージしやすい教材提示
- 一人ひとりの反応や考えを即時に把握しながら双方向的に授業を進める



文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用

- 子どもたち一人ひとりが考えをまとめて発表
- 共同編集で、リアルタイムで考えを共有しながらの学びあい

一人ひとりの学習状況に応じた個別学習

- デジタル教材を活用し、一人ひとりの学習進捗状況を可視化
- 様々な特徴を持った生徒によりきめ細やかな対応を行う



これまでの教育実践の蓄積 × ICT = 学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

町では、令和2年10月に「越前町 ICT 環境整備計画」を策定し、ICTの活用を基盤とした新しい教育環境の整備を行っています。

町の 整備計画

令和2年度

高速大容量の通信ネットワークの整備、小中学校の児童生徒1人1台タブレット端末の整備、各教科の学習に活用できる授業支援ソフト導入、校外学習などで使用するためのモバイルWi-Fiの整備

令和3年度

タブレット端末を効果的に活用するため、普通教室および特別教室に大型提示装置（電子黒板）を整備



大型提示装置



タブレット端末

学校での 活用事例

- 授業支援ソフトを活用したタブレット端末での教科ごとの学習
- タブレット内のカメラを使用し校外学習での撮影、記録
- 家庭でのタブレット学習（タブレット端末を持ち帰り、家庭での宿題の実施）
- 自宅へ持ち帰り、親子でオンラインの説明を聞く
- 職場体験学習のオンライン化
- スポーツ活動のオンライン配信



オンライン企業訪問



英語（食育とコラボ）



体育（ハードル走をチェック）



美術（デザインを学ぶ）

問合せ先 学校教育課 ☎34-8716